

＜仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について＞

1.1 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること

A 希望として

「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した人の割合が33.7%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい（24.9%）、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立したい（18.0%）の順となっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」「仕事」を優先したい」と回答した人の割合は、女性よりも男性の方が高くなっている。一方で、「家庭生活」を優先したい、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立したい」と回答した人の割合は、男性よりも女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した人の割合は、40歳代、50歳代で高くなっている。

図1.1-1 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること（A 希望として）

【総数、性別】

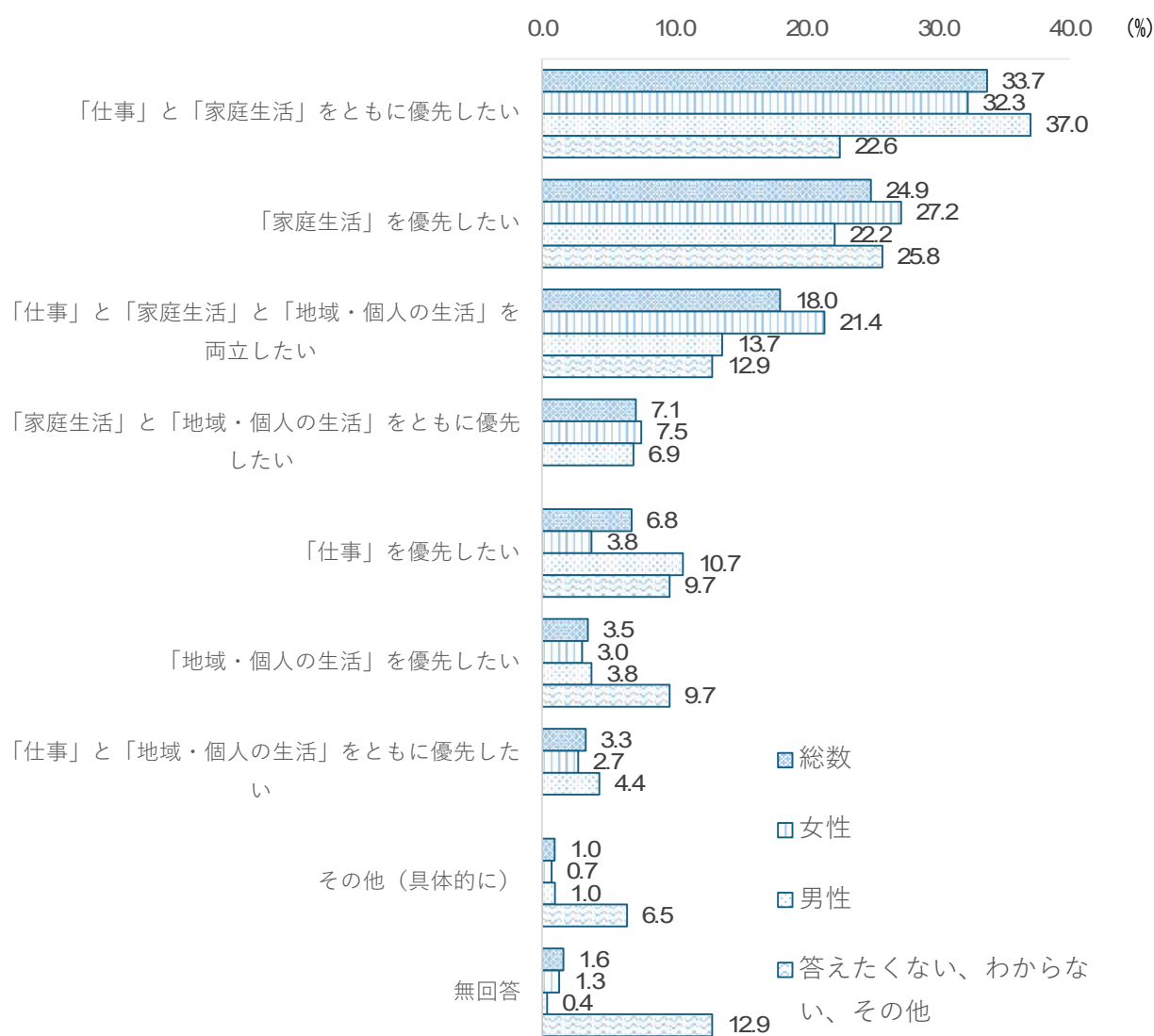
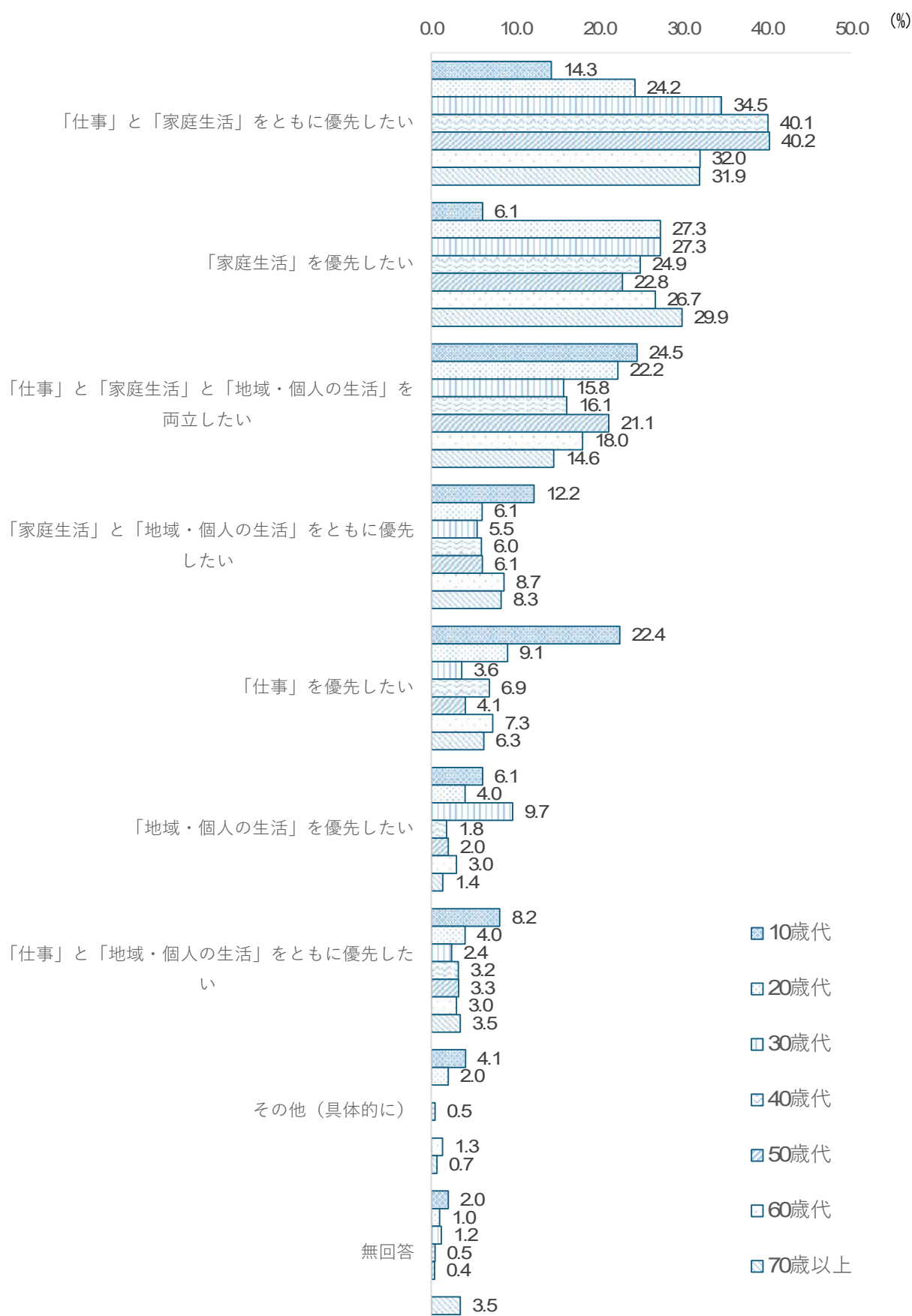


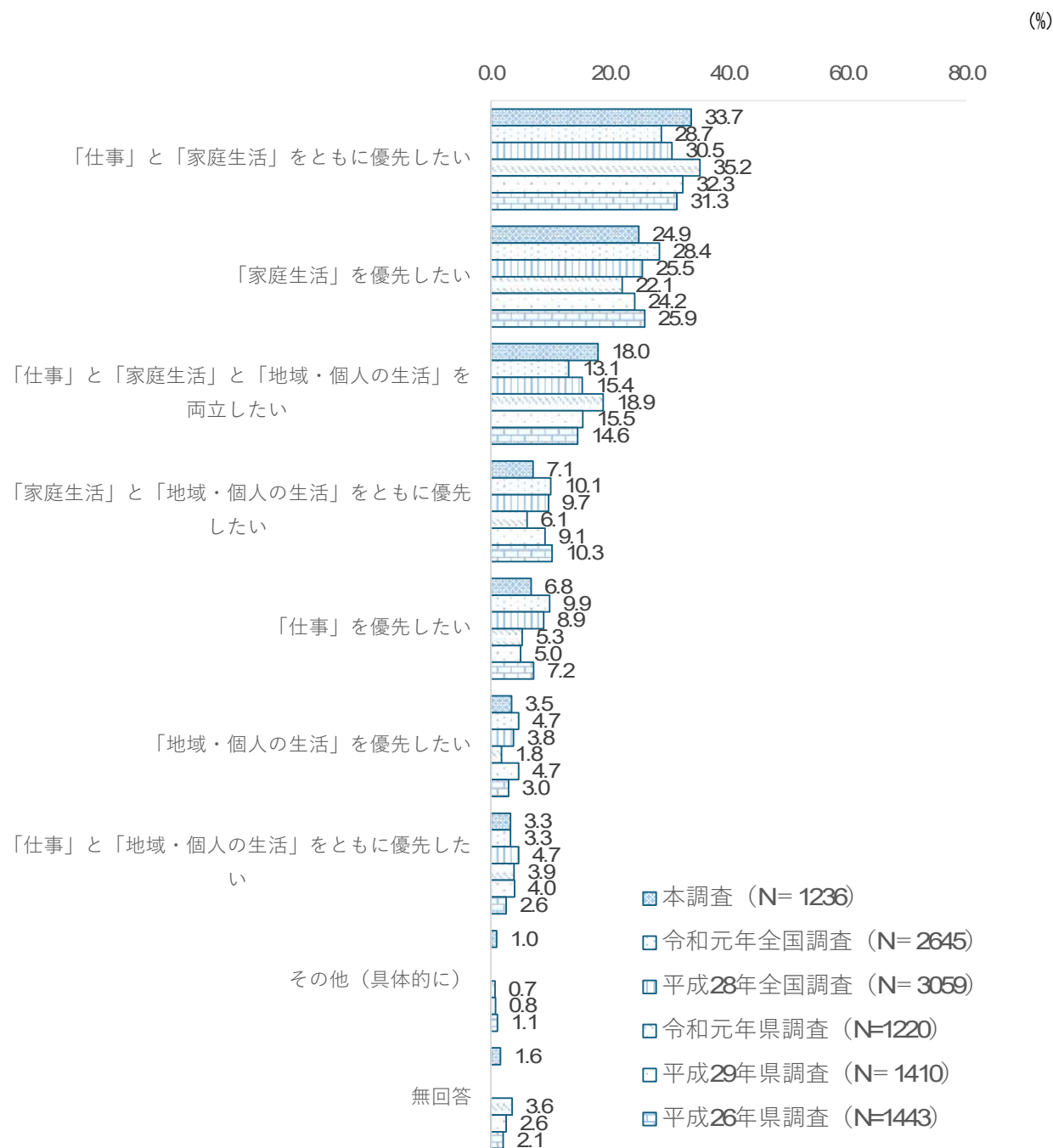
図11-2 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること（A 希望として）
【年齢別】



【他調査との比較】

他調査と比較すると、全ての調査で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高く、本調査における割合は、令和元年県調査より低く、令和元年全国調査より高くなっている。

図11-3 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること（A 希望として）
【他調査との比較】



B 現実として

「仕事」を優先している」と回答した人の割合が32.3%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先している」(26.7%)、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」(23.5%)の順となっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、「仕事」を優先している」と回答した人の割合は、女性よりも男性の方が高くなっている。一方で、「家庭生活」を優先している」と回答した人の割合は男性よりも女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「仕事」を優先している」と回答した人の割合は、20歳代では他の年齢層に比べ高くなっている。

図11-4 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること (B 現実として)
【総数、性別】

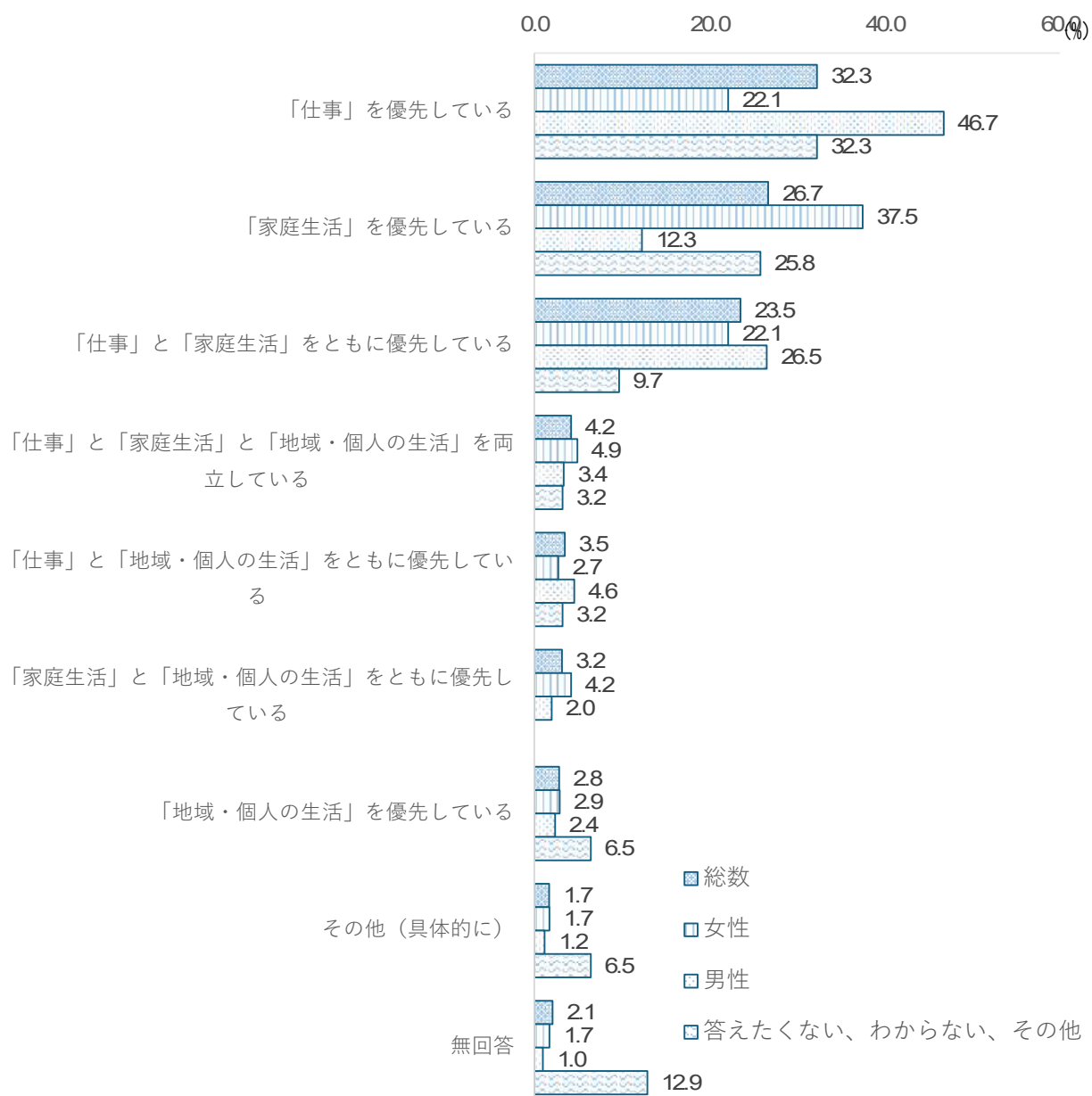
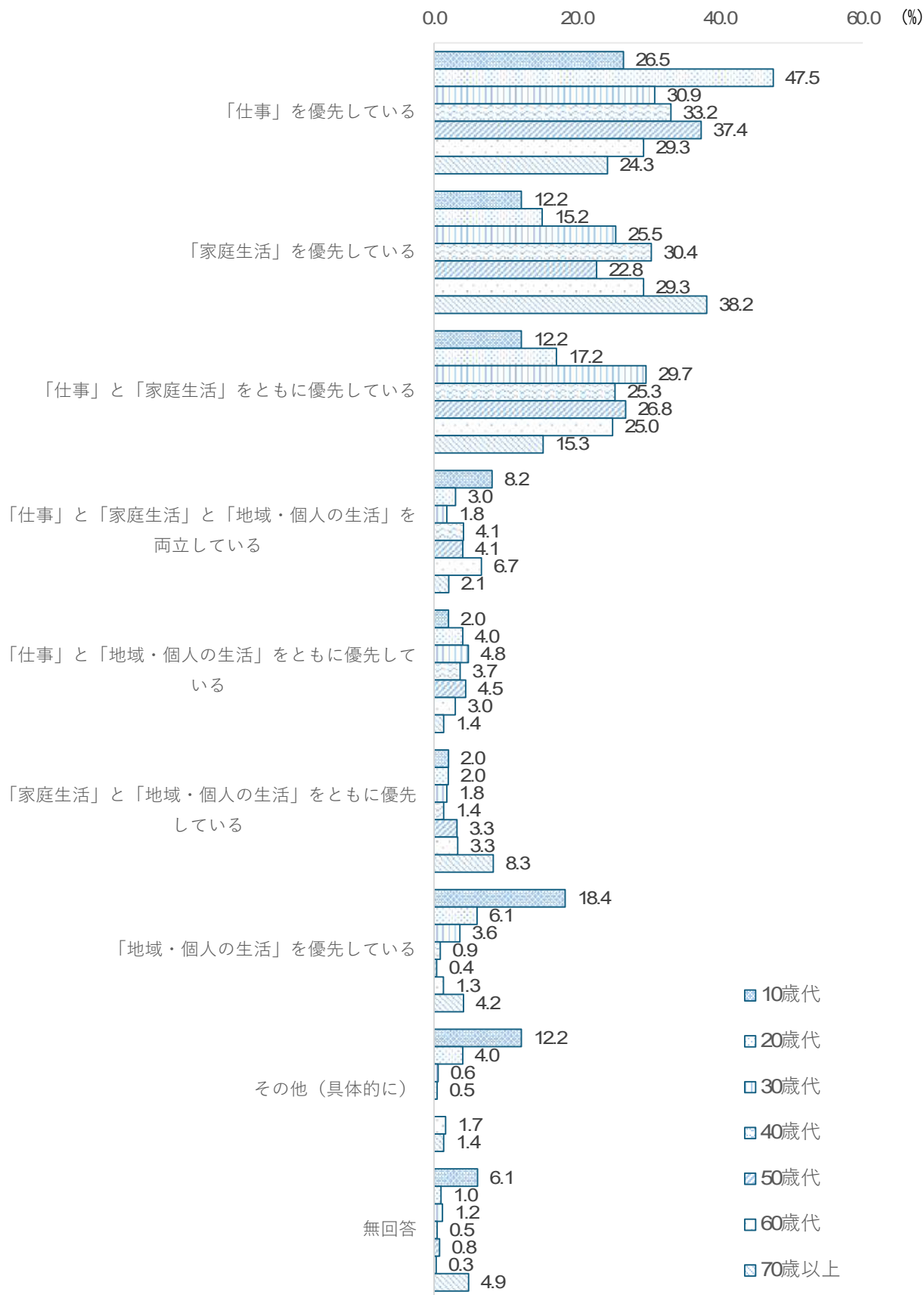


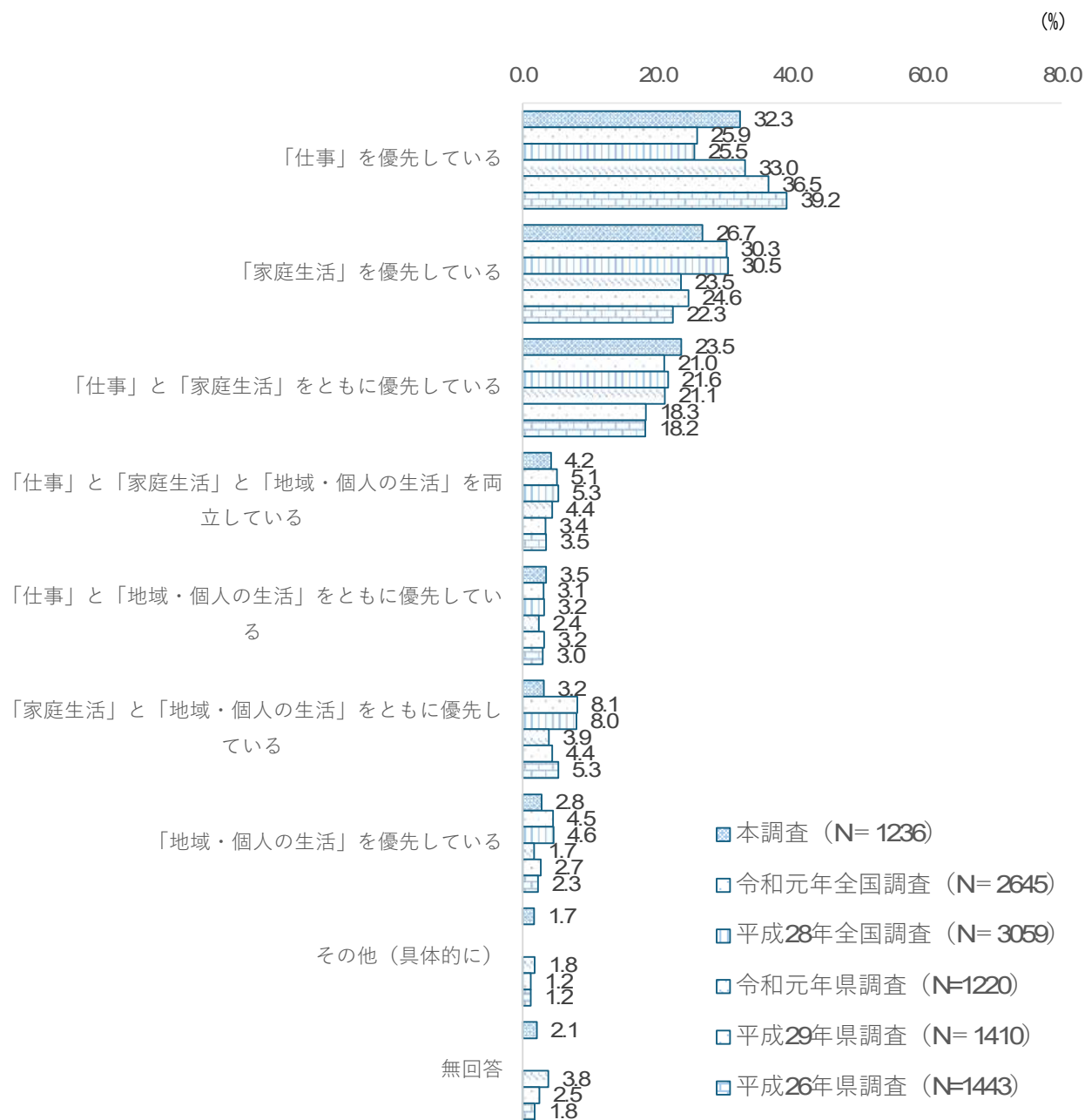
図11-5 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること（B 現実として）
【年齢別】



【他調査との比較】

他調査と比較すると、「仕事」を優先している」と回答した人の割合は、令和元年県調査より低く、令和元年全国調査より高くなっている。

図11-6 生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で優先すること（B 現実として）
【他調査との比較】



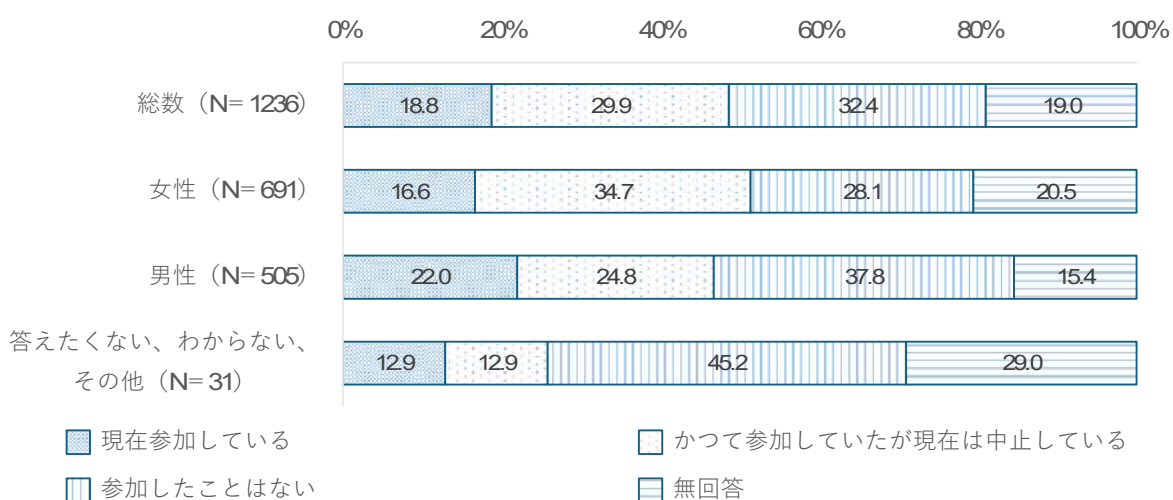
1.2 地域活動への参加経験

「参加したことはない」と回答した人の割合が32.4%と最も高く、次いで「かつて参加していたが現在は中止している」(29.9%)、「現在参加している」(18.8%)の順となっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、「かつて参加していたが現在は中止している」と回答した人の割合は男性より女性の方が高くなっている。また、「参加したことはない」と回答した人の割合は女性より男性の方が高くなっている。

図1.2-1 地域活動への参加経験
【総数、性別】



「現在（今までに）参加した活動」

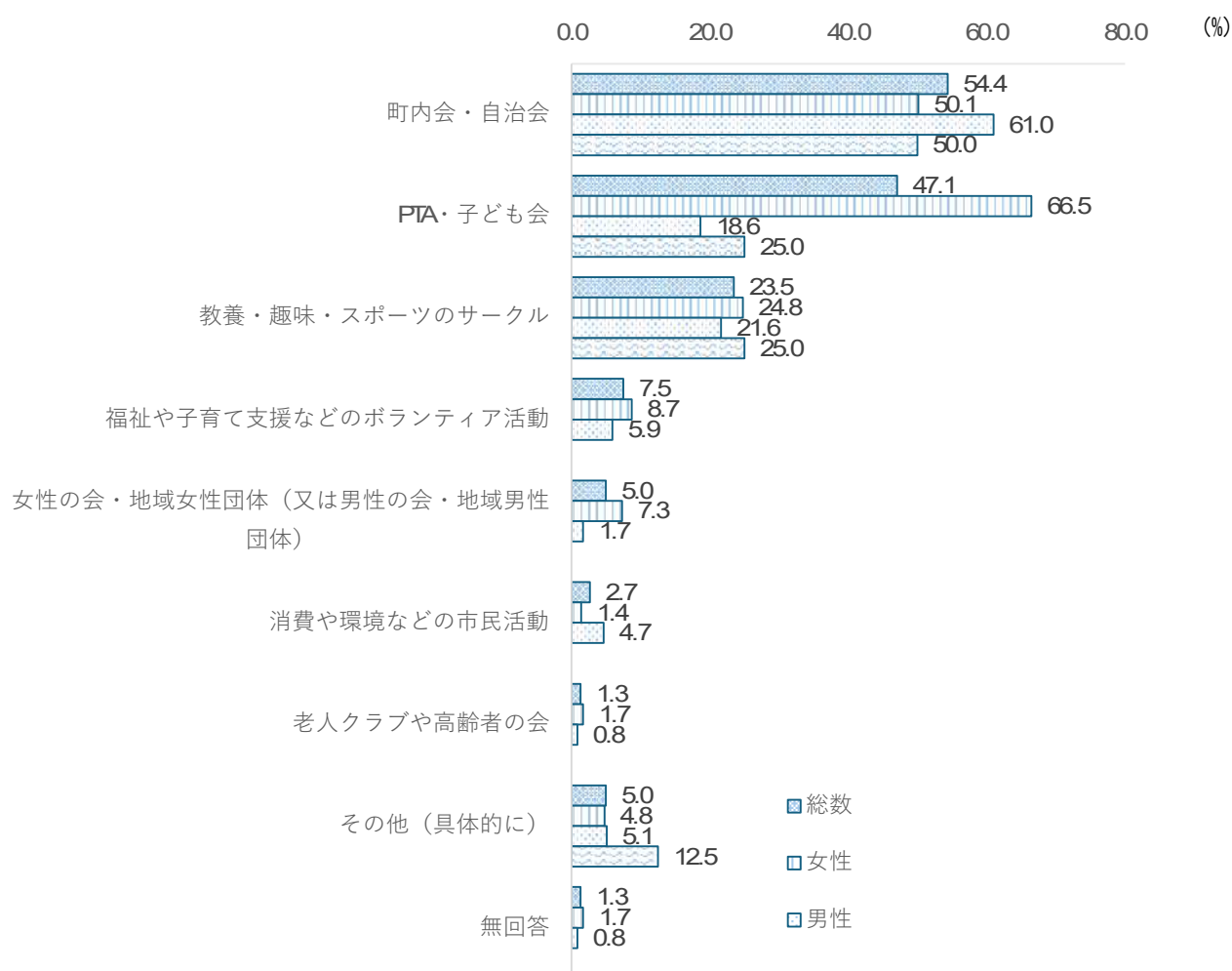
現在までに参加してきた活動としては、「町内会・自治会」(54.4%)が高く、次いで「PTA・子ども会」(47.1%)、「教養・趣味・スポーツのサークル」(23.5%)の順となっている。

【性別】

性別に見ると「PTA・子ども会」と回答した人の割合は、男性より女性の方が高くなっている。一方で、「町内会・自治会」と回答した人の割合は女性より男性の方が高くなっている。

図12-2 現在（今までに）参加した活動（参加した活動）

【総数、性別】



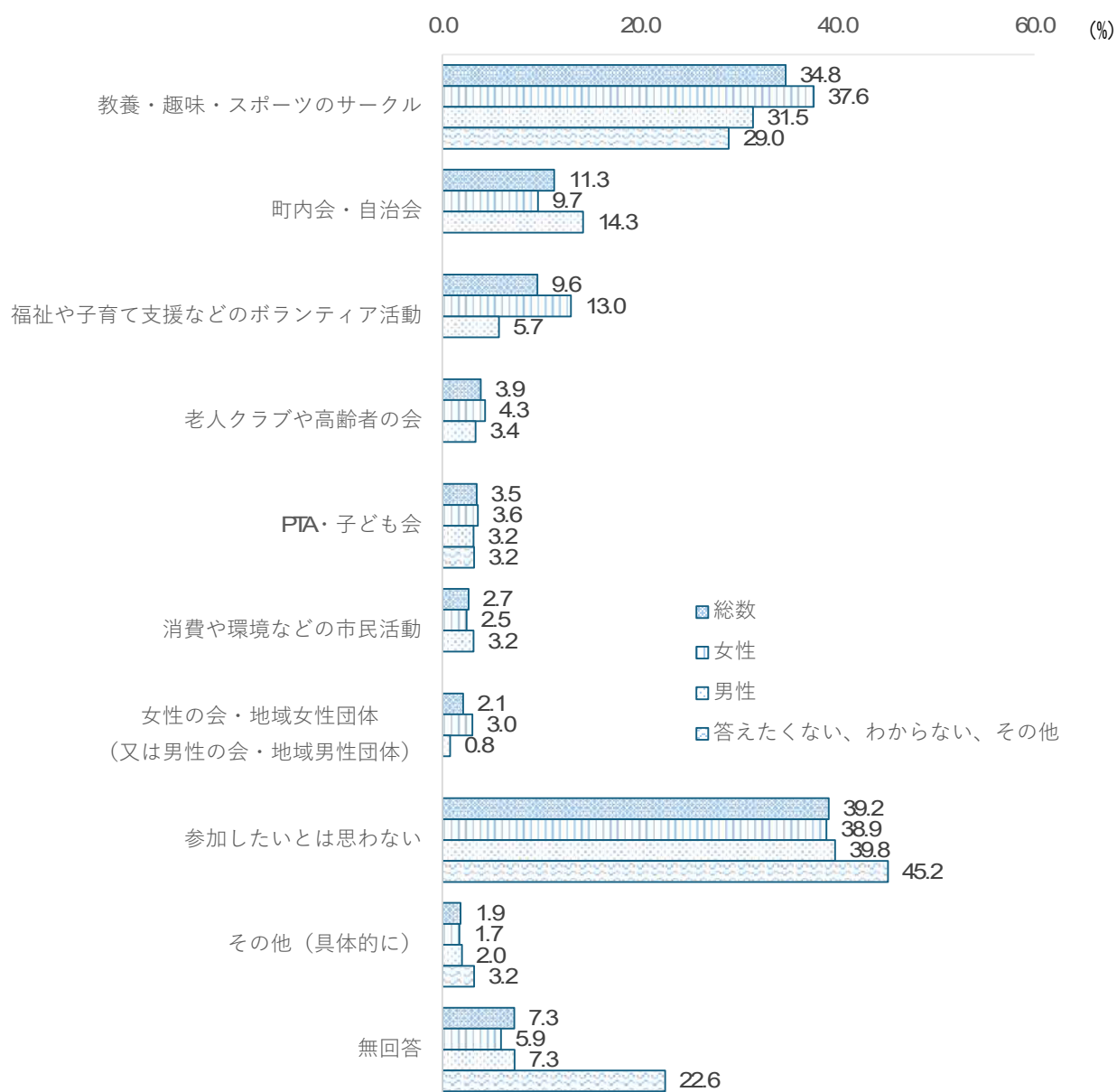
「今後又は引き続き参加したい活動」

今後又は引き続き参加したい活動としては、「参加したいとは思わない」と回答した人の割合が39.2%と最も高く、次いで「教養・趣味・スポーツのサークル」と回答した人の割合が34.8%となっている。

【性別】

性別に見ると、「町内会・自治会」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。一方で、「教養・趣味・スポーツのサークル」と回答した人の割合は、男性よりも女性の方が高くなっている。

図12-3 現在（今までに）参加した活動（今後又は引き続き参加したい活動）
【総数、性別】



13 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」と回答した人の割合が53.2%と最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(52.9%)、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」(52.8%)の順となっている。

【性別】

性別に見ると、「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」と回答した人の割合は男性よりも女性の方が高くなっている。

図13-1 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

【総数、性別】

